

目標

現行

- 「愛知目標 ターゲット9」の達成（～2020）
  - ・侵略的外来種とその定着経路が特定され、優先順位付けられ、優先度の高い種が制御・根絶される
  - ・侵略的外来種の導入又は定着を防止するために定着経路を管理するための対策が講じられる

+ 生物多様性国家戦略2012-2020の「100年計画」「長期目標」「短期目標」「国別目標」を念頭におく

改定案

- 「昆明・モンリオール生物多様性枠組ターゲット6」及び「生物多様性国家戦略2023-2030 行動目標1-3」の達成を通じた、「2030年ネイチャーポジティブ」への貢献（～2030）

## ①新たな侵略的外来種の導入予防

対策優先度の高い侵略的外来種については域内への導入及び定着の防止を、その他の侵略的外来種については導入率及び定着率の50%以上削減を達成。

## ②導入した侵略的外来種の防除

侵略的外来種について、それぞれ外来種による被害の深刻度及び導入した地域の生物多様性保全上の重要度から総合的に勘案し防除の優先度を設定する。更に防除の実行可能性も加味し、根絶、影響防止、影響軽減、影響管理のいずれかを達成。

目的

## 外来種対策の主流化

### 1 普及啓発・教育の推進と人材の育成

### 2 優先度を踏まえた外来種対策の推進

### 3 侵略的外来種の導入の防止(予防)

#### 3-1 意図的に導入される外来種の適正管理

#### 3-2 非意図的な導入に対する予防

### 4 効果的、効率的な防除の推進

### 5 国内由来の外来種への対応

### 6 同種の生物導入による遺伝的攪乱への対応

### 7 情報基盤の構築及び調査研究の推進

### 8 その他の対策

(国際貢献・国際連携／外来種由来の感染症対策 含む)

## 外来種対策の実践

### 1 優先度を踏まえた外来種対策の推進

- ・国及び地方公共団体による、外来種の侵入・被害等状況の  
確実な把握と適切な対応策の選択(優先順位付)
- ・民間セクターにおける主流化

### 2 侵略的外来種の導入の防止(予防)

#### 2-1 意図的に導入される外来種の適正管理

- ・事業者・国民等による管理の徹底・強化  
(同種の生物導入による遺伝的攪乱への対応にも言及)

#### 2-2 非意図的な導入に対する予防

- ・国による「要緊急対処特定外来生物」等制度の適切な運用
- ・民間セクター含む関係者間での連携体制強化

### 3 効果的、効率的な防除の推進

- ・各防除主体による戦略的な防除の徹底実施

### 4 普及啓発・教育の推進と人材の育成

### 5 情報基盤の構築及び調査研究・技術開発の推進

### 6 国際貢献・国際連携

### 7 関連する新たな課題への対策

(外来種由来の感染症対策)

目標達成のための  
主要行動として整理

- ☑「国外由来外来種」と「国内由来外来種」に分けて考え方を整理
- ☑改正外来生物法の運用強化に向けた具体的行動を示す観点で更新

1～3を強化するための  
基盤的行動として整理

行動指針